

九州大学附属図書館ワークショップ
「アクティブラーナーに向けた学習支援- 統合的な情報リテラシーと大学図書館 -」
開催のご案内

自律的な学びを促す教育への転換が大学に求められている中で、図書館はどのような役割を果たすことができるでしょうか。

大学図書館ではこれまで学習・教育支援の柱の一つとして学術情報リテラシー教育に取り組んできました。高等教育の現状において、学生の成長に寄与するためには、大学図書館の活動の意義を再確認し、教育企画部門や教員との結び付きをより密接にし、アクティブラーニングといった新たな学びの支援へさらに踏み込む必要があります。

九州大学附属図書館では、図書館間学術交流協定を締結しているイリノイ大学図書館から、米国の大学・研究図書館協会において情報リテラシー教育の研修プログラムを担当されてきたリサ・ヒンチリフ氏を講師にお招きし、下記のとおりワークショップを開催します。主に情報リテラシー教育という観点から、新たな学習支援の在り方を探ります。

関係の皆様のご参加をお待ちしております。

記

日時：平成 26 年 2 月 14 日（金） 10:00～17:00 （受付 9:30～）

会場：九州大学 箱崎キャンパス 理系地区 21 世紀交流プラザ II

<http://www.kyushu-u.ac.jp/access/map/hakozaki/hakozaki.html>

※箱崎キャンパスマップ理系地区 58 番の建物です。

対象：学習支援および情報リテラシーに関心のある大学図書館職員

定員：30 名

※応募多数の場合は抽選（各大学 1 名程度）を行います。あらかじめご了承ください。

講師：リサ・ジャニキー・ヒンチリフ氏

（米国イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校図書館

情報リテラシーサービスおよび指導担当 教授&コーディネーター）

使用言語：英語（逐次通訳有り）

申込方法：参加ご希望の方は以下のフォームから事前にお申し込みください。

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/webform/workshop20140214>

申込締切：平成 26 年 2 月 3 日（月）

問い合わせ先：

九州大学附属図書館 e リソースサービス室 e リソースサポート係

担当：天野・工藤

092-642-2336 / toesupport@jimu.kyushu-u.ac.jp

本ワークショップは九州大学の平成 25 年度教育の質向上支援プログラム (*Enhanced Education Program: EEP*) の支援を受けて実施するものです。

講師紹介：

リサ・ジャンキーク・ヒンチリフ氏 (Prof. Lisa Janicke Hinchliffe)

米国イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校図書館で情報リテラシーサービスおよび指導担当の教授およびコーディネーター、ならびにライブラリスクールの非常勤講師を勤める。米国の大学・研究図書館協会が主催する情報リテラシー集中訓練プログラムの教員でもある。大学・研究図書館協会元副会長。情報リテラシーや図書館評価等についての著作多数。



スケジュール：

10:00-12:00	開会挨拶 & ワークショップ 1
12:00-13:30	休憩
13:30-15:00	ワークショップ 2
15:00-15:30	休憩
15:30-17:00	ワークショップ 3 & 閉会挨拶

ワークショップ概要：

アクティブラーナーに向けた学習支援： 統合的な情報リテラシーと大学図書館

大学教育の進展は情報リテラシーをカリキュラムや学習体験に組み込む新たな機会をもたらしており、図書館はその進展に対応するに十分なツール、リソース、サービス、場を備えています。それでは、アクティブラーナーに最良の学習支援サービスを提供する方法、これら新しい環境において図書館が果たす役割は何でしょうか。本ワークショップでは、情報リテラシー教育のカリキュラムへの統合戦略、魅力的な教授方法、創造的な協働戦略、場とサービスのデザインといったことを探求します。ワークショップに参加することにより次の成果が期待されます。

- 情報リテラシー、アクティブラーニング、学習支援の関係を理解できるようになる。
- 在学中、そして、生涯にわたる学習のために、学生の学習と成功にどのように貢献できるか特定できるようになる。
- 教員および事務との協調・協働を発展させる戦略的アプローチを実行できるようになる。
- 情報リテラシー教育プログラムを発展させるインストラクショナルデザインとアセスメントモデルを使用できるようになる。
- さらなる研鑽のためのリソースと専門性向上の機会を特定できるようになる。

Workshop Abstract:

Learning Support for Active Learners: Integrative Information Literacy and the Academic Library

As developments in teaching and learning in higher education offer new opportunities for integrative information literacy in the academic curriculum and the student experience, libraries are well-poised to respond with a full-range of useful information tools and resources, robust services, and welcoming and enriching space/place environments. But, how to provide the best learning support services for active learners and what is the role of the librarian in these new environments? This workshop will explore strategies for integrating information literacy across the curriculum, engaging pedagogies, creative collaboration strategies, space and service design and development, etc.

By attending this workshop you will be able to:

- Understand the relationships among information literacy, active learning, and learning support.
- Identify how you contribute to student learning and success, during school and for lifelong learning.
- Implement strategic approaches to developing partnerships and collaborations with campus faculties and administrative offices.
- Use an instructional design and assessment model to develop a robust information literacy education program.
- Identify additional resources and professional development opportunities for further study.